

2020年6月14日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第63巻第10号(通算3187号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

# 週報

教会標語

かみさま <sup>つく</sup> 神様が創られたすべての <sup>いのち</sup> 命を  
たいせつ <sup>きょうかい</sup> 大切に <sup>する</sup> 教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

[kyuho-church@koinonia.or.jp](mailto:kyuho-church@koinonia.or.jp)

この希望が失望に終わることはありません。私たちに与えられた聖霊によって、  
神の愛が私たちの心に注がれているからです。(ローマの信徒への手紙5:5)



## きょうかいそうりつ しゅうねんきねんれいはい 教会創立61周年記念礼拝

### はな ひ ひれいはい 花の日こどもの日礼拝 せいれいこうりんせつだい しゅじつれいはい (聖霊降臨節第3主日礼拝)



そうかく  
奏楽

さん

まね <sup>ことば</sup> 招きの <sup>しんめいき</sup> 詞 <sup>しょう</sup> 申命記 <sup>せつ</sup> 6章 <sup>ページ</sup> 20-21節 (2頁)

さん <sup>びか</sup> 賛美歌 <sup>う</sup> 「埋もれた宝」(4-5頁)

せい <sup>しよ</sup> 聖書 <sup>ふくいんしよ</sup> マタイによる福音書 <sup>しょう</sup> 13章 44-50節 (2頁)

いの <sup>お</sup> 祈り <sup>ししきしゃ</sup> 司式者

さん <sup>びか</sup> 賛美歌 <sup>ばん</sup> 476番 「あめなるよろこび」(©教団讚美歌委員会)

メッセージ <sup>う</sup> 「埋もれた宝」 <sup>うしだ</sup> 牛田 <sup>ただし</sup> 匡 <sup>ぼくし</sup> 牧師

さん <sup>びか</sup> 賛美歌 <sup>かみ</sup> 「神の国とその義」3唱 (6頁) (©著作権消滅)

しんこう <sup>こくはく</sup> 信仰告白 <sup>こ</sup> 「子どもたちの信仰告白」(7頁)

しゅ <sup>いの</sup> 主の祈り <sup>ばん</sup> 62番 「天にいます わたしたちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

けん <sup>きん</sup> 献金 (\* ) 65-1番 「今そなえる」

は <sup>けん</sup> 派遣 <sup>かい</sup> こ改-36番 「いまでかけよう」(8頁) (©教団出版局)

しゅ <sup>くふ</sup> 祝福 <sup>うしだ</sup> 牛田 <sup>ただし</sup> 匡 <sup>ぼくし</sup> 牧師

こう <sup>そう</sup> 後奏 <sup>ばん</sup> アーメン コーラス (40-6番) (©教団讚美歌委員会)

ほう <sup>こく</sup> 報告 (10頁をご参照ください)

れいはい <sup>じゆうせき</sup> 《礼拝は自由席です。座ったままで礼拝にご参加ください》

れいはい <sup>ちゆう</sup> 《礼拝中、インターネットで中継配信を行います》

\* 「献金」は受付にて、ご用意のある方のみ、お献げください。

## 招きの詞 申命記 6章 20-21節

<sup>20</sup>もしも将来、あなたの子が、「私たちの神、主が命じられた定めと掟と法とは何のためですか」と問うならば、<sup>21</sup>あなたの子にこう答えなさい。「私たちはエジプトでファラオの奴隷であった。しかし主は、力強い手によって私たちをエジプトから導き出した。」



## 聖書 マタイによる福音書 13章 44-50節

<sup>44</sup>「天の国は、畑に隠された宝に似ている。人がそれを見つけると隠しておき、喜びのあまり、行って持ち物をすっかり売り払い、その畑を買う。」

<sup>45</sup>また、天の国は、良い真珠を探している商人に似ている。<sup>46</sup>高価な真珠を一つ見つけると、出かけて行って持ち物をすっかり売り払い、それを買う。」

<sup>47</sup>また、天の国は、海に降ろして、いろいろな魚を囲み入れる網に似ている。<sup>48</sup>網がいっぱいになると、人々は岸に引き上げ、座って、良いものは器に集め、悪いものは投げ捨てる。<sup>49</sup>世の終わりにもそうなる。天使たちが来て、正しい人々の中から悪い者をより分け、<sup>50</sup>燃え盛る炉に投げ入れる。彼らは、そこで泣きわめいて歯ぎしりするだろう。」



# 埋もれた宝

作詞 有澤禧年

作曲 近藤敏郎

この教会には夢がある！

- 1 わたしが はじめて きたときに  
ここで 宝を みつけたの  
埋もれた 宝を みつけたの  
この喜びに 夢をかけ  
すべてを 捨てて とび込んだ
- 2 わたしが はじめて きたときに  
まぶねの 主イエスを 見つけたの  
埋もれた 宝を みつけたの  
この幼な子に 夢をかけ  
心を広げて うけ入れた
- 3 わたしが はじめて きたときに  
わたしの中にも みつけたの  
埋もれた 宝を みつけたの  
この輝きに 夢をかけ  
土の器を 飾ったよ
- 4 わたしが はじめて きたときに  
仲間の中にも みつけたの  
埋もれた 宝を みつけたの  
このコイノニアに 夢をかけ  
収穫の主に 従った

この教会には夢がある！

子どもたちの信仰告白 (『みんなで礼拝アイデア集』73頁より改変)

ぼくし 牧師 わたし 神さまは <sup>かみ</sup>私たちが <sup>しん</sup>神さまを信じます。

<sup>かみ</sup>神さまは <sup>わたし</sup>私たちが <sup>たいせつ</sup>大切に、<sup>わたし</sup>私たちが <sup>たが</sup>互いに <sup>たいせつ</sup>大切に <sup>あ</sup>し合う  
ことを <sup>のぞ</sup>望んでおられます。

みんな この方こそ <sup>かみ</sup>私たちの神さま。

ぼくし 牧師 わたし 神さまは <sup>しん</sup>イエスさまを信じます。

<sup>こ</sup>イエスさまは <sup>いつく</sup>子どもたちを <sup>うで</sup>慈しみ、<sup>なか</sup>み腕の中に <sup>わたし</sup>私たちを  
<sup>つつ</sup>包みこんでくださいます。

<sup>へいわ</sup>イエスさまは <sup>いっしょ</sup>みんなが <sup>い</sup>平和のうちに <sup>い</sup>一緒に <sup>い</sup>生きることが  
できるような <sup>せかい</sup>世界を <sup>のぞ</sup>望まれました。

みんな この方こそ <sup>かみ</sup>イエス・キリスト。

ぼくし 牧師 わたし 神さまは <sup>せいれい</sup>聖霊を信じます。

<sup>せいれい</sup>聖霊は <sup>むね</sup>すべてのものが <sup>かな</sup>よいものとなり、<sup>むね</sup>あなたのみ <sup>かな</sup>旨に <sup>かな</sup>適う  
ようになるまで <sup>わたし</sup>私たちと <sup>いっしょ</sup>一緒に <sup>はたら</sup>働いて <sup>つつ</sup>働き続けておられます。

みんな この方こそ <sup>せいれい</sup>聖霊。

ぼくし 牧師 わたし 神さまは <sup>たが</sup>互いに <sup>たいせつ</sup>大切に <sup>あ</sup>し合っています。そのために、みんなが

<sup>かみ</sup>神さまのことを <sup>おも</sup>思い <sup>お</sup>起こすような <sup>きょうかい</sup>教会になることができます。

みんな これこそ <sup>わたし</sup>私たちが <sup>しん</sup>信じていることです。 アーメン。

(1991年オーストラリアのキャンベラで聞かれた世界教会協議会  
第7回総会においてなされた信仰告白。『礼拝と音楽』153号より)



## 《先週のメッセージより》6月7日 三位一体主日礼拝

「その道をあなた方は知っている」

牛田 匡 牧師

聖書：ヨハネによる福音書 14章1-14節

今回の聖書の箇所は最後の晩餐の席で、イエス様が弟子たちに話された話です。イエス様は自分が「もうすぐいなくなる」ということを弟子たちに示唆しながら、「神様のもとに、あなたがたの居場所がある。だから安心していなさい」と言われました。思い返してみると、イエス様も弟子たちも皆、生まれも育ちも貧しく賤しく、差別されていて、どこにも自分が居てよい「居場所」がなく、周囲から罪人と見なされていた人たちでした。その人たちに「私たちも皆、神様から大切にされている存在だ」と伝え、「居場所があるんだ」と伝えたのが、イエス様でした。そのイエス様が、もうすぐどこかへ行ってしまいます。しかも、「自分でついて来なさい。その道はもう知っているから」と言われても、弟子たちにしてみると、急に不安になったことでしょう。

イエス様は「私は道であり、真理であり、命である」と言われました。「道（みち／どう）」という言葉には、「生き方」や「あり方」という意味がありますが、ここで言われている「道」とは、まさにイエス様がその身をもって示された生き方、あり方のことです。ですから、ここでイエス様が言われているのは、「私があなたがたと共に歩いて来たように、あなたがたはこれからも歩いて行きなさい」ということでした。そして、これまでに触れて来たイエス様の生き様、言葉と振る舞いこそが、目に見えない父なる神の姿に他ならないのだとも言われました。

キリスト教の神は「父と子と聖霊」の三位一体と言われますが、その表現には古代世界の男性中心主義が含まれていますので、現代ではジェンダーに配慮して、例えば「見えない神、見える神、感じる神」や「創造する方、愛する方、守る方」などと表現する取り組みも始められています。これらは言い換えるならば、「目には見えなくても、神様はいつも共におられる」ということの表現であり、私たちはそのような神の姿、あり方を、聖書に記されているイエス・キリストの歩み、言葉と振る舞いを通して、知ることが出来ます。

「その道をあなた方は知っている」……。私たちが歩むべき道は、イエス・キリストが歩まれた道、その身をもって示された生き方です。燃え盛る火によって、メッキが剥がされると、中身は情けない私たちですが、そんな私たちを呼び出され、集められたのは神様です。いつも共にいて下さっている神様によって、私たちは今日もここからその後に従うようにと押し出されて行きます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (6月7日)

礼拝出席 大人8名 献金 11,000円 感謝

10週間ぶりに教会堂に皆で集まる形での礼拝を再開いたしました。併せて礼拝の中継もインターネットで配信いたしました。新来会(初参加)の方がいらっしゃいました。

◎次週 2020/6/21 聖霊降臨節第4主日礼拝

招きの詞 ガラテヤの信徒への手紙 3章 28節

聖書 ハバクク書 2章 1-4節

メッセージ「もうひとつの幻」水谷憲牧師

賛美歌 21-208番 21-360番 54-375番

奏楽 さん



礼拝をインターネットで中継配信いたします。ホームページにて10時半よりご視聴いただけます。

◎ お知らせ

- ・本日は、創立61周年記念礼拝・花の日こどもの日礼拝ですが、愛餐会(昼食会)はございません。礼拝後のお茶の時間の後、短く「聖書を読む会」を行います。テキストは『創世記』21章で、コピーを配布いたします。お時間の許す方はどなたでもご参加ください。
- ・先週より教会堂に皆が集まる形での礼拝を再開いたしましたが、今後も継続してウイルス対策が必要ですので、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあけた着席をお願いいたします。また咳・発熱・味覚異常・倦怠感・風邪症状のある方や、新型コロナウイルス感染者と接触された方は、ご自宅でお休み頂き、お祈りをもってお過ごしください。なおご入り用の方には教会の『聖書』と『讃美歌』をお貸しいたしますので、ご遠慮なさらず、どうぞお持ち帰りください。今後も皆で集まる形の礼拝の休止など、状況が変わり次第、ウェブサイト、Facebook、LINE公式アカウント等を通してお知らせいたします。
- ・教会員の方には「2020年度定期教会総会議事録」を配布いたしましたが、さんの住所が未訂正のままでした。訂正をどうぞよろしく願います。
- ・先週、礼拝後に4・5・6月期の「教会の活動を考える会(役員会)」が行われました。新期の役員については、前期に引き続き、書記をさんが、会計をさんが引き受けてくださることになりました。新役員の方々の上に神様からのお導きとお力添えをお祈りください。現任教員の方々には「議事録(案)」を配布いたします。その他の主な議案としては、「教会学校(CS)」が「こどもの礼拝」と改称して、時間も10時15分からとなりました。また今月27日(土)に予定されていたまぶねっこクラブの大浦農園での「縁農」(釜ヶ崎・いこい食堂支援)ジャガイモの収穫作業も、今後のコロナの状況に対して見通しが立たず、移動の車中での「3密(密閉・密接・密集)」が防げないために中止として、子どもたちの参加募集はしないことになりました。先日6日と同様に大人だけでボランティアに行く予定です。その後の7月以降の「縁農」の予定については、今後コロナの状況を確認しながら検討していく予定です。

◎ 次週以降の行事予定・礼拝奉仕者

	会場	司式	奏楽	メッセージ	行事
6/21	久宝寺地区 久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)			水谷牧師	
6/28				牛田牧師	4・5・6月誕生者祝福式・おにぎり支援
7/5				牛田牧師	ユークリスト・教会の活動を考える会
7/12				水谷牧師	部落解放祈りの日